

資料7：沼津兵学校付属小学校での齋藤修一郎

●「英文自伝」：

His first intention was to study French — from what reason unknown — but because he could not find any French teacher there in the town, he determined to study English and was able to find a native teacher under whose instruction he commenced a small book on conversation. Thus young Edward began to study English in the autumn of 1870 in his 15th year of age.

彼の当初の意図は、その理由はよくわからないが、フランス語を学ぶことであった。しかしその町でフランス語の教師を見つけることができなかつたので、英語を学ぼうと決心して一人の英語を母国語とした教師を見つけることが出来た。そしてその教師に教えてもらい、会話に関する小さな本を（学び）始めた。こうして若いエドワードは、彼が15歳の時、1870年の秋に英語を学び始めた。

●『懐旧談』

本藩の子弟の寄宿舎となっている隣家の新居屋というのに下宿して毎日通学していた。学課はまず手始め英語であつて杉田玄端先生の甥にあたる杉田武という先生に手ほどきをしてもらった。これが余の英学を学び始めた抑々の端緒である。（中略）西洋の学問を着実に学習したのは是が実に序開であつて、用書はスペリング・ブック¹であつた。

※以下には「大雲叔父から月10円の遊学費を貰って、スペリング・ブックを学習している間に、武生では風雲急を告げ、明治3年8月騒動が起き、大雲の叔父らは福井に連行されて大工町の獄屋に投ぜられた」と記述されている。

●金城隠士²著「沼津時代の回顧³」：

法学士齋藤修一郎君は越前よりの留学生で僕が小学校の同窓たりしのみならず、吉村右文という数学の先生の許に通いたる時の相弟子であつた。僕等は筆算を学ぶに駿河半紙さえ思う様に買い兼ねていたのに、齋藤君は西洋紙を惜し気もなく使って、しかもこれがルールドペーパーであつた。（中略）当時は沼津広しと雖も福島屋という所謂唐物見世の外他に販売所がなかつたものだ。したがって服装kあらゆる持物迄が貴公子の様であつた。（「沼津時代の回顧」6・大正2年7月27日「静岡民衆新聞」掲載より）

¹ 樋口雄彦著『沼津兵学校の研究』（2007年吉川弘文館刊）p467には、この本は、開成所版の『英語階梯』（AN ENGLISH SPELLING-BOOK WITH READING LESSONS FOR THE BEGINERS AT THE SCHOOL）のことか、とある。またP470には『英語階梯』は、全25丁の和装本で、アルファベット活字で印刷され、英単語が全21章に分けられ配列されているとある。

² 金城隠士は齋藤とは兵学校付属小学校同級で本名は黒川正（ただす）。その父の山田大夢も兵学校付属小学校教授（教授方手伝い）や寄宿舎舎監を務めるなど兵学校との縁は深い。その後彼は静岡師範学校や静岡中学校で教師をしていた。また樋口雄彦『沼津兵学校の研究』（2007年吉川弘文館）p625などによると金城隠士は1856（安政3）年3月21日生まれ1916（大正5）年3月20日没で旧名木村鈔太郎正節。慶応義塾に遊学していた1879（明治12）年から翌年にかけて静岡の「函右日報」に論説を投稿し自由民権論を唱えたという。さらに樋口雄彦『旧幕臣の明治維新—沼津兵学校とその群像』（2005年吉川弘文館）P167によると黒川正の父の山田大夢も1880（明治13）年に結成された民権結社・観光社に加わっている。この「沼津時代の回顧」は、

³ 金城隠士がこの回顧録を語った経緯は、伊東圭一郎著『東海三州の人物』（1914年3月静岡民衆新聞刊）の序の一つに「沼津兵学校の一章の如き、君の叙述によりて金城隠士を起し、之の回顧談をも叙せしめ」とあることから、伊東圭一郎が「静岡民衆新聞」に掲載した「沼津兵学校の人材1~6」に刺激されて、金城が民衆新聞に語ったものか。掲載途中の「沼津時代の回顧6」の最後に「明日から北越に遊ばん」と述べ「今回は蓋し一週日の後にあるべし」と語っており、掲載が二週間ほど休止していることから、掲載日の直前に語ったものを記者が速記して即日起して新聞に掲載されたものであろう。伊東圭一郎が書いた「沼津兵学校の人材」が1913・大正2年6月掲載だから、これに刺激されて金城が回顧談を語ったとの前述の序の記述が裏付けられる。そして金城が語った相手が伊東で、回顧談を編集したのも伊東圭一郎の可能性はある。